

平成27年度

単位施策評価表

所属 22500000

保健福祉部 健康増進課

施策	4301 予防対策の強化						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	各種健診や予防接種の実施、新たな感染症の発生・拡大を防ぐ意識啓発や体制づくり、生活習慣病の予防等を図る。						
成果指標	胃がん検診受診率・・・50.0%（平成29年度目標値）（現状値11.7%） 国民健康保険人間ドック（一般、脳）受診者数 ・・・・1,000人（平成29年度目標値）（現状値832人）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	12.00	17.00	22.00	35.00	50.00
		実績	11.60	14.00	13.60		
	成果指標2 [人]	予定	900.00	940.00	960.00	980.00	1,000.00
		実績	793.00	837.00	838.00		
		単位コスト	841.74	1,063.61	983.04		
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	851,454	952,048	914,844			
	実績	667,499	890,239	823,785			
内部評価	貢献度	人間ドック検診費用の助成や各種検診の受診率の向上は、日頃の健康管理への動機付けや早期治療につながり、予防的な施策として健康づくりの充実に貢献する。					
	達成状況	がん死亡率の上位にある胃がんの受診率は、目標22.0%に対し13.60%であった。また、国保人間ドック検診の受診者数は、目標値940人に対し838人であった。					
	課題	人間ドックについては費用助成対象者に未受診者が発生した。胃がん検診の受診率が前年度より下がった。					
	取組方針	集団検診の申込みに24時間受付する予約システムの周知・利用促進に努める。また、人間ドック実施協力機関の確保について検討する。					
外部評価	成果指標である「胃がん検診受診率」及び「国民健康保険人間ドック（一般、脳）受診者数」ともに、平成25年度からいずれも目標値が未達成である。達成のため更なる工夫をすべきであり、新たに他の疾病に関する受診率の設定も検討すべきと考える。 市民への健康に関する意識づけのため、健康増進キャンペーンの実施や健康に関する標語の募集・表彰を行うことも検討すべきである。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	132801	医療費通知事業費				5,880	100
	134401	後発医薬品利用差額通知事業費				861	100
	270101	健康診査事業費				213,160	100
	271201	新型インフルエンザ対策事業費				7,674	100
	715601	とち介の予防接種ナビ委託費				2,305	100
	717001	人間ドック検診事業費				3,073	100
	132701	人間ドック検診事業費				17,849	93
	132601	健康啓発事業費				339	86
	145901	健康診査事業費				47,972	78
717701	ヘルスサポート事業費				13,386	45	

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	4301 予防対策の強化		
区分	妥当性	妥当	予防接種法、健康増進法や高齢者の医療の確保に関する法律等法令で市が行うことが義務付けられている。
	コスト削減の余地	無	受診率の向上と共にコストは上昇する。
	受益者負担	余地有	集団検診及び個別検診の自己負担額の増額が必要である。
	上位貢献度	有効	人間ドックを含む健康診査は、予防的な施策として健康づくりに貢献する。
	類似事業の有無	無	関係法令で市が実施するとされており、類似する事業はない。
	成果向上の余地	有	受けやすい環境の整備で受診率向上の可能性はある。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題	平成27年度から受診しやすい環境整備の一環としてインターネットによる24時間予約受付を正式に開始し、20代から30代の女性に限れば、WEB利用者の割合は47.6%になるが、集団検診の総予約申込者のWEB利用割合はわずか13.9%であり、受診率は伸びなかった。	
	取組方針	けんしんガイドブックにはインターネット予約申込みの際の操作画面を載せて、いつでも申し込みができることを周知していく。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	国保	款項目	080201	予算事業コード	132701	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策										
事業名	人間ドック検診事業費										主	4301	健康づくりの充実		予防対策の強化									
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 保険医療課 国保係					担当者	内野 友理		従															
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		国民健康保険法		事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	227,800		千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 35歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に、人間ドック(一般、脳)検診費用の1/2相当額で3万円を限度として助成を行い、疾病の早期発見、早期治療を図る。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 人間ドック(一般・脳) 受診者数 1,000人																
	成 果 策 目 標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)																						
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		事業の内容 その成果						平成26年度 人間ドック検診費用の助成を行い、疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減を図った。被保険者からの要望が高い事業であり継続して実施していく。 ・837人 17,505,000円 (一般639人、脳131人、宿泊67人)						平成27年度 【事業の内容】 人間ドック検診費用の助成を行い、疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減を図る。被保険者からの要望が高い事業であり継続して実施していく。 ・891人(予定)(一般680人、脳152人、宿泊59人) 【成果】 人間ドック検診費用の助成を行った。 ・838人(一般636人、脳149人、宿泊53人)								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0																			県支出金	0	0
総事業費 a+b+c	17,859	17,849		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価															
結果指標 1	837.00	838.00		人間ドック検診受診者数	人間ドック検診の受診者数 H27目標値 900人			人	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地										
結果指標 2									妥当	無	余地有	有効	無	有										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・広報やホームページ等で啓発する。 ・検診実施機関について地域性や利用状況を考慮して検討を行う。																							
事後評価備考																								

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270101	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	健康診査事業費										主	4301	健康づくりの充実			予防対策の強化		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	大橋勝造					従						
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等	健康増進法			事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	1,769,290		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見・早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のため、ヤング健診を実施する。 ・女性がんと無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・健診体制の充実						
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果 施策 目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		6,802	2,422		事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度						
	県支出金		3,449	4,566			特定健康診査、後期高齢者健康診査 各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、若年者健診 肝炎ウイルス検診無料事業の実施 がん検診推進事業を実施 A B C 検査の新規実施 個別勧奨(けんしんパスポート)、 未受診理由アンケートの実施 (予算は本庁に集約)	【事業の内容】 けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、若年者健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、A B C 検査、歯周疾患検診を実施した。										
	地方債		0	0				【成果】 日頃の健康管理への関心を促した。										
	その他特財		0	0														
	一般財源		180,510	176,172														
	事業費 a		190,761	183,160														
	人件費 b		30,000	30,000														
減価償却費 c		0	0															
総事業費 a+b+c		220,761	213,160		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		105.00	98.00		集団健診の実施回数	年間の集団検診実施回数 H27目標値 98回			回		妥当	無	余地有	有効	無	有		
結果指標 2		15,506.00	16,338.00		健診受診者数 H27目標値	年間の総受診者数 16,000人			人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270102	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	健康診査事業費（大平）										主	4301	健康づくりの充実			予防対策の強化		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	大橋勝造					従						
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等	健康増進法			事業期間	H 2 0 ~ H 2 9 年度			全体事業費 (人件費除)	60,453		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見と早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のため、ヤング健診を実施する。 ・女性がん及び大腸がん検診を無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・健診体制の充実						
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果 施策目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度							
	県支出金		0			特定健康診査 各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、若年者健診 後期高齢者健康診査 肝炎ウイルス検診無料事業の実施 がん検診推進事業を実施 ABC検査の実施 個別勧奨(けんしんパスポート)、未受診理由アンケートの実施 (予算は本庁に集約)	【事業の内容】 けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、若年者健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周疾患検診を実施した。											
	地方債		0				【成果】 日頃の健康管理への関心を促した。											
	その他特財		0															
	一般財源		0															
	事業費 a		0															
	人件費 b		2,025	3,000														
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c		2,025	3,000		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		16.00	16.00		集団健診の実施回数	年間の集団健診実施回数 H 2 7 目標値 1 6 回			回		妥当	無	余地有	有効	無	有		
結果指標 2		10,398.00	10,459.00		健診受診者数	年間の総受診者数 H 2 7 目標値 1 0 , 4 0 0 人			人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270103	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	健康診査事業費（藤岡）										主	4301	健康づくりの充実		予防対策の強化	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	大橋勝造					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		健康増進法		事業期間	H18 ~ H29 年度				全体事業費 (人件費除)	117,760		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見と早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のため、ヤング健診を実施する。 ・女性がん及び大腸がん検診を無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する。 【主要事業】本庁一本化										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・検診体制の充実				
	成果目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容				事業の事後評価										
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度 特定健康診査 各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、若年者健診 後期高齢者健康診査 肝炎ウイルス検診無料事業の実施 がん検診推進事業を実施 A B C 検査の実施 個別勧奨(けんしんパスポート)、 未受診理由アンケートの実施 (予算は本庁に集約)			平成27年度			【事業の内容】 けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、若年者健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、A B C 検査、歯周疾患検診を実施した。 【成果】 日頃の健康管理への関心を促した。	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	県支出金	0	0				妥当	無	余地有			有効	無	有			
	地方債	0	0				指標名	算出方法	単位								
	その他特財	0	0				集団健診の実施回数	年間の集団検診実施回数 H26目標値10回 H27目標値 12回	回								
	一般財源	0	0				健診受診者数	年間の総受診者数 H26目標値1300人 H27目標値 1,500人	人								
	事業費 a	0	0														
	人件費 b	600	600														
減価償却費 c	0	0															
総事業費 a+b+c	600	600															
結果指標 1	10.00	12.00															
結果指標 2	1,344.00	1,651.00															

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)									
	・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施									

事後評価備考										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270104	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	健康診査事業費（都賀）										主	4301	健康づくりの充実			予防対策の強化		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	大橋勝造					従						
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等	健康増進法			事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	84,706		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見と早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のためヤング健診を実施する。 ・女性がん及び大腸がん検診を無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・健診体制の充実						
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果 施策目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度							
	県支出金		0			特定健康診査 各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周疾患検診、若年者健診 後期高齢者健康診査 肝炎ウイルス検診無料事業の実施 がん検診推進事業を実施 ABC検査の実施 個別勧奨(けんしんパスポート)、未受診理由アンケートの実施 (予算は本庁に集約)	【事業の内容】 けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、若年者健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周疾患検診を実施した。											
	地方債		0				【成果】 日頃の健康管理への関心を促した。											
	その他特財		0															
	一般財源		0															
	事業費 a		0															
	人件費 b	6,375	6,375															
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c	6,375	6,375		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	10.00	10.00		集団健診の実施回数	年間の集団健診実施回数 H27目標値 10回			回		妥当	無	余地有	有効	無	有			
結果指標 2	1,543.00	1,758.00		健診受診者数	年間の総受診者数 H27目標値1,500人			人										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知を図る。 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施する。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	270105	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	健康診査事業費（西方）										主	4301	健康づくりの充実	予防対策の強化			
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 検診係					担当者	大橋勝造					従					
事業の性質	1	法定受託事務	根拠法令等	健康増進法								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	0 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・脳卒中、心臓病、がんなどの生活習慣病の早期発見と早期治療推進のため、40歳以上の住民を対象に各種検診(特定健診、特定保健指導含む)を実施する。 ・若年から生活習慣病予防のため、ヤング健診を実施する。 ・女性がん及び大腸がん検診を無料(クーポン)で受診できるがん検診推進事業を実施する。 ・個別勧奨(コール)、再勧奨(リコール)事業を実施する。【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・各種検診の受診率の向上 ・検診体制の充実					
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	成果 施策 目標	胃がん検診受診率・・・50.0%(平成29年度目標値)(現状値11.7%) 国民健康保険人間ドック(一般、脳)受診者数 ・・・・1,000人(平成29年度目標値)(現状値832人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度						
	県支出金		0	0		特定健康診査 各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、若年者健診 後期高齢者健康診査 肝炎ウイルス検診無料事業の実施 がん検診推進事業を実施 ABC検査の実施 個別勧奨(けんしんパスポート)、未受診理由アンケートの実施	【事業の内容】 けんしんパスポートで20歳以上の全市民に個別に検診案内し、特定健康診査、後期高齢者健康診査、若年者健診、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、ABC検査、歯周疾患検診を実施した。										
	地方債		0	0		【成果】 日頃の健康管理への関心を促した。											
	その他特財		0	0													
	一般財源		0	0													
	事業費 a		0	0													
	人件費 b		1,725	1,725													
減価償却費 c		0	0														
総事業費 a+b+c		1,725	1,725	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 1		4.00	4.00	各種検診の実施回数	各種検診の実施回数 H27目標値4回	回	妥当	無	適正	有効	無	有					
結果指標 2		604.00	717.00	検診受診者数	検診受診者数 H27目標値600人	人											
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・特定健診実施に伴う健診受診体制の整備と受診者への啓発、周知 ・無料クーポン検診の未受診者への再勧奨を計画的に実施																
事後評価備考																	